

置賜十九番・北国三十二番・米沢一番所

# 笹野観音

中風除地蔵尊・家業繁昌聖天尊



## 長命山幸徳院笹野寺

山形県米沢市笹野本町5685-5  
電話 0238-38-5517

### 笹野観音堂年表

昔、征夷大将軍の坂上田村麿呂が千手千眼観世音菩薩を安置し、旅の僧が羽黒大権現を祀って、笹野山の山上に大悲閣と羽黒堂があったと伝えられている。

大同元年(八〇六) 四月、この地に八間四面の観音堂を建立する。

弘仁元年(八二〇) 七月、落成して徳一上人を開山の第一世として入仏供養を行う。

永享年中(一四二九～一四四二) 春日上人が観世音菩薩と羽黒大権現を秘仏とし、新たに千手千眼観世音菩薩を祀る。

天正五年(一五七七) 四月、伊達氏第十七世、政宗公が開帳供養を行う。(御年十一)

慶長年中(一五九六～一六一五) 上杉景勝公の祈禱師の養蔵坊清順が羽黒山より勧請した羽黒大権現を観音堂の後神として祀る。

慶長六年(一六〇二) 上杉家二代、藩主景勝公が観音堂を修理される。

寛永十一年(一六三四) 上杉家三代、藩主定勝公が観音堂を修理される。

慶安五年(一六五二) 上杉家四代、藩主綱勝公が観音堂を修理される。

寛文六年(一六六六) 上杉喜平次公が観音堂を修理される。(後の綱憲公)

元禄三年(一六九〇) 上杉家五代、藩主綱憲公が観音堂を修理される。

安永八年(一七七九) 上杉家十代、藩主治憲公が四年をかけて観音堂を再建し、十一月に入仏供養を行う。(鷹山公)

天保四年(一八三三) 一月、火災で観音堂が消失する。

天保十四年(一八四三) 上杉家十三代、藩主斉憲公が三年をかけて観音堂を再建し、六月に落成して藩内各宗の寺院によって落慶、入仏の法要を七日間行う。

明治二八年(一八九五) 屋根の総葺替えを行う。

昭和五八年(一九八三) 屋根の修繕総葺替えを行う。



秋

冬



春

夏



## 笹野観音堂由来

笹野観音堂は、千手千眼観世音菩薩を御本尊とする長命山幸徳院笹野寺という真言宗の寺院です。  
昔、征夷大將軍の坂上田村麿呂が国家の安泰を願い千手千眼観世音菩薩を安置し、また旅の僧が最上川の上流をさかのぼる霊木に羽黒大権現の像を刻んで笹野村の鎮守として村人に祀らしめ、笹野山（裏の山）の中腹に観音堂と羽黒堂があったと伝えられています。  
大同元年（八〇六）四月より現在の地に御堂を建立し弘仁元年（八一〇）七月に落成。千手千眼観世音菩薩を迎え、福島県会津の法相宗の高僧である徳一上人を開山第一世として入仏供養が行われました。  
その後、羽黒大権現も移されて合わせ祀られてより禍が続き、山形県長井の宥日阿闍梨が真言秘密の法を

もって千手観音と羽黒権現の両尊を秘仏とし、新たに千手千眼観世音菩薩を造立供養して御本尊とします。靈験あらたかをもつて民衆より藩主まで広く信仰され後に米沢城主、そして仙台藩主となった伊達政宗公は天正五年（一五七七）四月に開帳法要を行い祈願され上杉氏が当地を治める時代になると、二代藩主景勝公の祈禱師が、別当職を務めていた庄内の羽黒大権現を再び観音堂の後ろ神として祀ります。  
以来、上杉藩の祈願所として歴代の藩主が毎月三度祈願をされ、観音堂の改築修繕を繰り返されましたが天保四年（一八三三）正月に火災により秘仏を除いて焼失し、現在の観音堂は上杉十三代斉憲公が再建され天保十四年（一八四三）七月に落成した御堂です。

## 御本尊及び脇土の二尊

◇千手千眼観世音菩薩はあらゆる願望の成就を示すとされる千の手と、その掌に一つずつの千の目をお持ちになり、廣大無辺の世界を自由自在に見て取って人々の苦悩を救済して諸願成就や産生、平穩を司ります。御本尊の御姿は頭上に阿弥陀如来の化仏と喜怒哀楽の相を表わした十のお顔が有り、四十二本の手にはそれぞれに持ち物をお持ちになる身の丈七十一cm、総高さ一五三cmの木造の立像です。  
◇地藏菩薩は錫杖と宝珠を持ち、迷いの世界にあつて悩み苦しむ人々を慈しみ救われる。  
◇毘沙門天は宝塔と宝棒を持ち、常に御仏の道場を守り説法を聞かれ福德を授ける。共に身の丈四七cm、総高さ九一cmの木造の立像。

## 観音堂の彫刻

御本尊の威徳を示して観音堂の正面に納まる鳳凰、龍、獅子や象蓮華を持つたり笛や太鼓を奏でて内陣の欄間を飾る飛天など、随所に彫られた彫刻は庄内の後藤藤吉後藤政吉、そして福島の渡部藤吉山口利介の手によるものです。

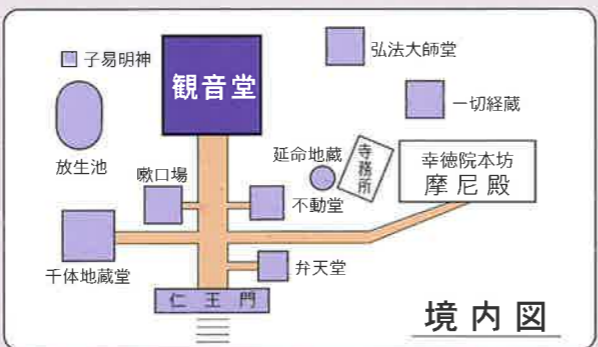


## 境内諸堂

◇弘法大師堂 真言密教を伝え、宗教や教育芸術、文字、土木建築など多方面に活躍された日本文化に大きな足跡を残された空海上人を御本尊として四国霊場と高野山の石を安置。  
◇仁王門 諸堂の守護のため丸形、丸形二体の金剛力士を安置。  
◇千体地藏堂 いびた地藏と称する中風除けの地藏菩薩を御本尊とし相良人形の地藏菩薩像を千体安置。



◇延命地藏 寺務所  
◇不動堂  
◇弁天堂  
◇放生池  
◇千体地藏堂  
◇延命地藏  
◇不動堂  
◇弁天堂  
◇放生池  
◇千体地藏堂



## 十七堂祭り 紫燈護摩による大祈願祭

観音様初縁日の祭禮が十七堂祭りとして正月十七日に行われ、午後二時より真言密教における紫燈護摩の御祈禱が観音堂の前で厳修され、祈願の最後に参詣者が不動明王の智火によって、一切の罪障を焼き尽くし無病息災や心願成就を祈って残り火の上を素足で渡る火渡りがあり、境内には笹野彫の出店が軒を揃える。

## 蘇民将来

蘇民将来は八角に削った木の上面に☆印を付した疫病除けの護符で、この地に疫病が無いのは古より毎年蘇民将来を彫刻するためと伝えられ、木を幾重にも削り込んだ笹野花と共に祭礼の縁起物として当地に伝えられてきた笹野彫の起源と思われる。



## 境内のあじさい

観音様の御威光に庭の木や草までも瑠璃色に輝くと御詠歌に歌われることから、境内に植えられ夏祭りをいどころ紫陽花は七月中咲き誇り、中旬が見頃です。

